

# 「ござる」の言語学

秋 月 高 太 郎\*

*Gozaru as a role language*

Kotaro Akizuki

現代日本のフィクション作品には、文末に「ござる」を用いて話すキャラクターがしばしば登場する。彼らの多くは「忍者」や「武士」のキャラクターである。「ござる」は、今日では、もっぱらこのようなキャラクターの役割語としてのみ用いられる語彙の1つである。「ござる」は、近世後期の作品においては「高齢の知識人」のキャラクターに、近代の作品においては「忠臣」のキャラクターに用いられている。役割語としての「ござる」は、近代以後、「忠臣」というキャラクター属性との結びつきを経て、戦後、「忍者」や「武士」のキャラクターに用いられるようになったと考えられる。

キーワード：役割語、ござる、ございます、『浮世風呂』、『リヤ王』

## 1. はじめに

現在、日本語が用いられる場において、以下のような発話を耳にしたり、または書かれた文として目にしたりすることがあるだろう。

- (1) a. こちらでございます。  
b. こちらでござる。

しかし、(1a)と(1b)は用いられる環境に異なりがあると思われる。たとえば、(1a)のような文は、デパート等で買いたいものがどこにあるのかを店員に尋ねたときに、その店員が商品のある場所に案内する際に発話することがあるだろう。つまり、(1a)は、現在、実際に用いられて耳にする可能性がある文である。「ございます」がリアルな場で使用される語彙であることは、佳子さまが20歳の誕生日をお迎えになるにあたって開かれた記者会見におけるご発言からも明らかである。

- (2) a. 高校生の頃は、成年というと随分大人のイメージがございましたが、いざ自分が成年を迎えとなると、まだ未熟なところが多くあると感じております。  
b. 短所は、父と同じように導火線が短いところがありまして、家の中ではささ

---

2015年3月26日受理  
\* 尚綱学院大学 教授

いなことで口論になってしまうこともございます。

- c. 母は、週刊誌などではさまざまな取り上げ方をされているようですが、娘の私から見ると、非常に優しく前向きで明るい人だと感じることもございます。

(「佳子さま：会見全文 20歳の誕生日を前に」『毎日新聞』2014年12月29日)

この会見において、佳子さまは「ございます」を繰り返しお使いになっている。このように、「ございます」は使用者や用いられる場面に制限があるものの、現在、日本語の話し手によって実際に用いられることがある語彙である<sup>1)</sup>。

これに対し、(1b)のような文は、実際に日本語の話し手が発話するのを耳にすることはきわめてまれであろう。現在、もし「ござる」という語彙を目にしたたり、耳にすることがあるとすれば、それは、以下のような、マンガやアニメ等のフィクション作品に登場するキャラクターのセリフとしてだと思われる。

- (3) a. この技は 修業をつま ないと だめ でござるよ

(藤子不二雄<sup>④</sup>『新忍者ハットリくん<sup>①</sup>』)

- b. 拙者は 流浪人 あてのない 旅の剣客で ござるよ

(和月伸宏『るろうに剣心<sup>①</sup>』)

(3a)は藤子不二雄<sup>④</sup>の『新忍者ハットリくん』に登場する「忍者」キャラクターのハットリくん、(3b)は和月伸宏の『るろうに剣心』に登場する「武士」キャラクターの緋村剣心のセリフである。つまり、「ござる」は、少なくとも現代日本語においては、バーチャルな場面においてのみ用いられる役割語の一種とみなすことができる。金水・編(2014)にしたがえば、「ござる」は<忍者ことば>または<武士ことば>に含まれる語彙の1つということになる<sup>2), 3)</sup>。

このように、現代日本語の「ござる」と「ございます」には、前者はバーチャルな場面でのみ用いられないのに対し、後者はバーチャルな場面でもリアルな場面でも用いられるという違いがある。これは、「ござる」と「ございます」の違いを、「食べる」と「食べます」の違いのような、普通体か丁寧体かという文体のスタイルの違いとして説明するだけでは不十分であることを示している。「ござる」もかつては、「ございます」同様、リアルな場面で使用されていた語彙と考えられる<sup>4)</sup>。いつ頃から「ござる」の使用はバーチャルな場面に限られるようになったのであろうか。また、役割語としての「ござる」は、初めから「忍者」や「武士」のようなキャラクターに用いられたのであろうか。

本稿では、近世および近代の文学作品において、「ござる」が「忍者」や「武士」とは異なったキャラクターに用いられていたことを示す。そして、戦後、役割語としての「ござる」が「忍者」や「武士」といったキャラクター属性とどのようにむすびついていったのかについて考察する。

## 2. 『浮世風呂』における「ござる」

式亭三馬著『浮世風呂』は、江戸時代末期、文化文政年間に発刊された「滑稽本」の一つで

ある。江戸の銭湯を訪れるさまざまな人物の会話が「リアルに」描写されていることで知られる。『浮世風呂』に登場する人物の会話が、どの程度当時のリアルなことばを反映しているのかについては議論があるが（福島 2002）、本稿では『浮世風呂』の会話を、式亭三馬が造形したキャラクターの発話として見る。よく知られているように、三馬は、『浮世風呂』において、さまざまな表記上の工夫を行うことで、キャラクターに特有のことばづかいを表現することを試みている。たとえば、東北地方出身のキャラクターが、語頭以外のガ行子音を、鼻音 [ŋ] でなく破裂音 [g] で発音することを、仮名文字の右肩に白抜きの丸を付加することで表し、これを「白濁（しろきにごり）」と名づけている<sup>5)</sup>。このような試みがなされていることは、三馬が、キャラクターとことばづかいのむすびつきにきわめて自覚的であったことを示している。三馬は、おそらく実在する似たような人物のことばづかいを手がかりに、登場するキャラクターのことばづかいを設定し、描写したのだと考えられる。当時の人々は、その特有のことばづかいを見たり聞いたりすることによって、特定の人物像を「生き生きと」思い浮かべることができたにちがいない。これが、『浮世風呂』を役割語の視点から分析可能とみなす理由である。

では、『浮世風呂』において、どのようなキャラクターが「ござる」を用いているのかを見よう。以下の表1は、『浮世風呂』で「ござる」を使用しているキャラクターとその使用回数を示したものである<sup>6)</sup>。

話し手	性別	属性	使用回数	巻
いしゃ	男	医者	4	前編巻之上
いんきょ	男	高齢	1	前編巻之上
くりのいち	男	盲人	1	前編巻之下
かきのいち	男	盲人	1	前編巻之下
くりのいち・かきのいち	男	盲人	1	前編巻之下
ゆずのいち	男	盲人	1	前編巻之下
ばゞ	女	高齢	2	二編巻之下
かみさま	女	中年(?)	2	二編巻之下
山出し下女	女	若年(?)	3	三編巻之下
鬼角	男	俳諧師	2	四編巻之上
月八	男	?	1	四編巻之中

表1 『浮世風呂』における「ござる」の使用

『浮世風呂』には「ござる」の使用例が19例ある。『浮世風呂』において、「ござる」は、使用するキャラクターも、用いる回数もかなり限定されている。つまり、特定のキャラクターが、その会話の中で、わずかに用いているにすぎない。これは、「ございます」の用いられ方と対照的である。『浮世風呂』において、「ございます」は、湯屋の「ばんとう」、下女、「かみさま」（中年の女性）等によって繰り返し用いられている。彼らは、その発話における文末の多くを「ございます」で終えており、「ございます」の使用が、発話するキャラクターの人物像を強く特徴づけている。以下の例を見られたい<sup>7)</sup>。

- (4) 巳「京形だの、京かんざしだのと、何でも珍しい事を好まず。お江戸の人はお江戸の風がいつまでも能うございますのよ。つかねえことでございますが、御惣領のお姉さんは、タシカ、お片付なさいましたツけネ」  
辰「ハイ、相應な所がございましたから片づけました」

(4) は「二編卷之上」における「巳」と「辰」という 2 人の「かみさま」の会話である。2 人はおたがいに、「ございます」で終る文を多用して会話をかわしている。銭湯というインフォーマルな場においても、上品さを失わない程度に丁寧にふるまう中年女性という人物像は、まさにこの「ございます」の多用によって表されていると言えよう。

一方「ござる」は、特定のキャラクターがその文末に徹底して用いるということはない。「ござる」は、会話内で、いわばフレーバー的に用いられるにすぎず、「ございます」のように、そのキャラクターの人物像を強く特徴づける語彙として用いられているわけではない。少なくとも『浮世風呂』のキャラクターにおいては、「ござる」は、他の役割語と一緒に用いられることで、あるキャラクターの人物像を印象づけるようなはたらきをしている語彙といえる<sup>8)</sup>。

以下、「ござる」の使用が複数回ある「いしゃ」「ばゞ」「鬼角」という 3 人のキャラクターについて、それぞれくわしく見てみよう<sup>9)</sup>。

## 2.1 「いしゃ」の「ござる」

最初に、『浮世風呂』において「ござる」を最も多く用いている「いしゃ」というキャラクターについて考えてみよう。以下に、その「いしゃ」が用いている「ござる」の 4 つの使用例を示す。

- (5) a. 相かはらず碁でござらう。  
b. 息がせかゝといきだはしいものでござるから  
c. 所謂俳諧などを好む人にある病ひとござつて  
d. おそらくは鶴飼の症でござらう。

(5) はすべて、「いしゃ」と「いんきょ」が「上りば」で話をしている場面で発せられたものである。三馬は、他のキャラクターに対してもしばしば行っているように、この「いしゃ」に対しても、ことばづかいの特徴を次のように注記している。

- (6) 人をあざけるように笑ひて口さきにて切り口上、何なる者といふくちくせあり

最初の「人をあざけるように笑ひて」という部分は、以下の (7) のような例に表されていると言えよう。「いしゃ」は、会話の途中でしばしば、「ハツハツハツハ」という笑い声を発している。

- (7) a. 何としてゝ、あの男等が小量で何がしれるものか。ハツハツハツハ。  
b. 此方は聞いたばかりで病を察するはさ。ハツハツハツハ。

次の「口さきにて切り口上」というのは、以下のような表現上の特徴から感じ取ることができる。第一に、「いしゃ」は、しばしば文末に「て(テ)ナ」を用いる。当時の「て(テ)ナ」の用法は明らかでないが、現代日本語の感覚から推測すれば、その発話に投げやりな印象を与える効果があると言えよう。これが「口さき」だけの人物という印象につながる。

- (8) a. 俗物も當推量にいふテナ。  
b. ハツハツハツハ、歎しい事だてナ。  
c. 踏みつぶすまでも大きく腹こなしに能てナ。  
d. ドウダ、番頭、所謂主管なる者も大役だてナ

第二に「いしゃ」は、文末を断定の助動詞「だ」や否定の助動詞「ぬ」で言い切る文をししばし用いる。これらの文からは強い断定の意志が感じられ、「切り口上」という印象につながる。

- (9) a. それ御覧じろ、俳諧が好だ。  
b. 見ずとも其通だ。  
c. などゝてにをはのやうな事をいふ男どもだ。  
(10) a. 兎角隙つぶしが多くて病家の小言を聞いてならぬ。  
b. これで医者が流行ってはたまらぬ。

最後の「何なる者といふくちくせ」は、前掲の(8d)や、以下の(11)の例に見ることができる。「なるもの」という表現には、話し手が、聞き手は知らない情報とみなして表出するという働きがあり、聞き手をバカにした印象を与えることがある。

- (11) 所謂蹴鞠なるもの。

以上、「いしゃ」のことばづかいの特徴を見た。三馬が、さまざまな言語資源を用いて、キャラクターを注意深く造形していることがうかがえる。この場面において、「いしゃ」の性別・年齢は描写されていないが、おそらく、「いんきょ」と同等またははより高齢の男性と考えられる。このことは、次のような部分から推測できる。第一に「いしゃ」は、「らしい」や「なさい」といった表現を用いて、聞き手である「いんきょ」に対して「命令」を行っている。これらの表現は、上位の人物が下位の人物に対して用いるものである。

- (12) a. ア去嫌がある食物をお気をつけられい。  
b. チトお出なさい。

第二に、「いんきょ」は、「いしゃ」に対して一貫して敬語を用いて話している。

- (13) a. 只今では丹溪さまでござります  
b. まづどなたのお見立ても膈症じゃと仰られます  
c. さやうおっしゃれば俳諧が好でこまります

「いんきょ」は、「ござります」「仰られます」「こまります」のように、常に丁寧体のスタイルで発話することによって、聞き手である「いしゃ」に対して丁寧にふるまっている。また「丹溪さま」「お見立て」「どなた」のような美化語を用いることで、上品にふるまおうとしている。さらに、「いしゃ」の行為を「おっしゃる」という尊敬語を用いることで、「いしゃ」に対する敬意を表している。このようなことばづかいは、「いんきょ」が「いしゃ」を、自分より上位の人物と位置づけているという印象を与える。実際、この場面における会話の内容は、自分の病状について、他の医者との診断結果を話した「いんきょ」に対して、「いしゃ」がその診断は誤りであることを告げるというものである。そこには、誤った診断をした医者や、そのような者の診断を鵜呑みにしている「いんきょ」に対するあざけりが感じられ、自分こそが「いんきょ」の病状に対して正しい診断を下せるという「いしゃ」の自尊心の発露がある。このような態度の「いしゃ」に対して、「いんきょ」はもっぱら「拝聴する」という態度でふるまっている。

以上の観察をふまえると、三馬は、「いしゃ」というキャラクターを、自尊心の高い高齢の男性として造形したと考えられる。そこには、そのようなキャラクターに対するあざけりや皮肉の態度も含まれているかもしれない。三馬は、このようなキャラクターのことばづかいの1つとして「ござる」を選択したのだと考えられる。

## 2.2 「ばゞ」の「ござる」

次に「二編巻之下」に登場する「ばゞ」の例を見てみよう。「ばゞ」には「ござる」の使用例が2つある。

- (14) a. わたしらが嫁はそんな口松じやアござへやしねへ。  
b. 能かと思つて大勢の人さまも聞いてござる中でいけふさ/しい。

(14) は、女湯の「上りば」の場面である。「した」（または「お舌」）という「かみさん」の娘「おべそ」が、「お鬢」と「お髻」という二人の「かみさん」にぶたれたと言って泣きながら「上りば」に入ってくる。「した」は怒って、「あの親めらに誤らして呉う」と息巻き、「お鬢」と「お髻」の悪口を吐き散らす。この一部始終を「さいぜん」の後ろで見ていた「ばゞ」は、次のように言う。

- (15) なんだ、此かみさんは。親めら、親めらと、口穢へ。そつちの娘のいたづらなことはいはねえで、人の子に返りくじを食せる。口廣いことだが、わたしらが孫といつちやア、近所で名代のうちば者だから、何余所の子を泣かせやうズ。

「二編巻之下」の冒頭に、「した」は「あくたれとよはれたるおしやべりかみさま」と注記がある。「ばゞ」は、そのような「した」をたしなめる、より高齢の女性として登場するのである。(15) のような「ばゞ」の発話を受けて、「した」は次のように切り返す。

- (16) コレ、コレ。やかましい。チツトだまるが能はな。年老のくせに出しやばってからに。コレ、おらががきか、あくたれあまか、うぬが孫が根性悪か、人さま御存

だは。内が貧乏だのと、がきの口からいふことばじやアねへ。てめへたちが云て聞せるからいふのだア。

(16) からわかるように、「した」は、前掲の(4)のような、「ございます」を用いる、上品な「かみさま」のキャラクターとしては造形されていない。「した」は自分を「おら」と称し、自分より年上(と思われる)「ばゞ」を「うぬ」「てめえ」と称している。一方、「ばゞ」は自分を「わたし」と称している。この場面では、売り言葉に買い言葉の「した」に対して、「ばゞ」は比較的冷静にふるまっているように感じられる。

以上の観察をふまえると、三馬は、「ばゞ」を、他人の悪口を吐き散らす「下品な」中年女性の「した」に対して、そのようなふるまいをたしなめる、世の常識をわきまえた、高齢の女性キャラクターとして造形したと考えられる。そのようなキャラクターが用いることばの1つに「ござる」が選ばれているのである。

### 2.3 「鬼角」の「ござる」

最後に、「四編卷之上」に登場する「鬼角」と表記された俳諧師の例を見てみよう。「鬼角」には「ござる」の使用例が2つある。

- (17) a. 地口といふのも、發語の文字が同時なれば、冠と申て忌げにござる。  
b. これはあるきながら両側を讀むものゆゑ、字數をすくなくして、早く解易く、  
ずっと口本でおかしく作るが本意ぢやげにござる

この場面は、「商人(あきんど)体の男」の「点兵衛」が、「水舟」のわきで坊主頭を洗っていた「鬼角」に、「これは、鬼角さま。お早うござります」と言って話しかけるところから始まる。「点兵衛」は「一寸サ、伺たいことがござります」と言って、「鬼角」に、自分の俳諧の出来を尋ねる。前掲の(17)は、「点兵衛」の俳諧に対する「鬼角」のコメントの一部である。

この場面において、「点兵衛」は、もっぱら「鬼角」に対して敬意をはらい、師に教を請うといった態度で臨んでいる。以下の(18)はその発話の一部である。

- (18) イエサ、私は下手の横好きで、兎角マア、あなたがたのやうな、俳諧とやら連哥とやら、哥は勿論。ホイ、是ではお梅桑之助の淨るりになりました。ハ、ハ、ハ。シタガさやうなぐさみが好物でござります。どうぞ御覆藏なくおつしやつて下さりませ。それが私の為になります

(18)の「点兵衛」の発話には多くの敬語表現がちりばめられている。「点兵衛」は、「鬼角」を「あなた」と称し、「おっしゃる」という尊敬語を用いることで敬意を払い、文末には「ます」を用いる丁寧体のスタイルで話している。さらに「点兵衛」は、自分の俳諧の趣味を「下手の横好き」と称することで、自分を低めている。

このような「点兵衛」に対し、「鬼角」は、「俳諧の師」として、もっぱら「上から目線」で講釈をたれる。すなわち、三馬は、「鬼角」を比較的高齢の、男性の知識人キャラクターとして造形したと考えられる。そのようなキャラクターが自分の知識を披瀝するという場面におい



て、「ござる」が選択されているのである。

### 3. 坪内逍遙譯『リヤ王』における「ござる」

次に、近代の文学作品を見てみよう。本章では、坪内逍遙譯『リヤ王』をとりあげる。坪内は、明治末期から昭和初期にかけてシェイクスピア全集の翻訳にとりくんだ。もちろん、原作であるシェイクスピアの戯曲に登場するキャラクターは、16世紀の英国人のシェイクスピアによって造形されたヨーロッパ人である。しかし、坪内は、それを翻訳するにあたって、日本語母語話者として想定可能な人物像を思い浮かべていたはずである。たとえば、英国の「伯爵(earl)」という身分は日本には存在しないが、坪内は、それが(近代の)日本ではどのような人物に相当するのかを想定し、それにふさわしいことばづかいを選択したと考えられる。このように考える限りにおいて、坪内譯シェイクスピア全集に登場するキャラクターは、日本語母語話者である坪内によって、あたかも日本語母語話者のキャラクターであるかのように「再」造形されたとみなすことができるだろう。これが、坪内譯シェイクスピア作品を、日本語の役割語という視点から分析可能と考える理由である。

では、坪内譯『リヤ王』における「ござる」の使用例を見てみよう。表2は、『リヤ王』で「ござる」を使用しているキャラクターとその使用回数を示したものである。

話し手	性別	属性	使用回数	幕場
ケント伯爵	男	伯爵	5	第1幕第1場
リヤ王	男	王	7	第1幕第1・4場／第2幕第4場
グロースター伯爵	男	伯爵	8	第1幕第1場／第2幕第4場／第3幕第7場
フランス王	男	王	1	第1場第1場

表2 『リヤ王』における「ござる」の使用

『リヤ王』には「ござる」の使用例が20例ある。『浮世風呂』と同様、『リヤ王』においても「ござる」を使用するキャラクターは限定されており、ケント伯爵、リヤ王、グロースター伯爵、フランス王の4人にすぎない。また、この4人が用いる「ござる」がフレーバー的な使用に限られているという点も『浮世風呂』と同様である。

#### 3.1 ケント伯爵の「ござる」

最初にケント伯爵(以下、ケント)から見てみよう。ケントには「ござる」の使用例が5つある。以下に、その用例のすべてを示す。

- (19) a. あれは御子息でござるか。  
 b. 至尊に愚味な振舞ひがあれば、直諫は恥を知る者の義務でござる。  
 c. 外に反響する音の低いは、内に誠情が充實してゐるので、心の空虚でない證據でござる。  
 d. ヤァ、アポローも照覽あれ、御誓言は無益でござる。



e. おさらばでござる。

ケントの「ござる」の使用は、「第1幕第1場」のリヤ王宮殿でのシーンに集中している。(19a)は、グロースター伯爵に対するセリフ、(19b)以下の4例はすべてリヤ王に対するセリフである。つまりケントは、自分と同等またはより身分が上の人物との対話において「ござる」を用いていることになる。ケントはリヤ王の忠臣でありながら「第1幕第1場」の後半でリヤ王に追放されるが、「第1幕第4場」において、「下人」に変装して再びリヤ王の前に現れ、彼に仕える。ここで興味深いのは、「下人」に変装したケントのことばづかいが、「第1幕第1場」でのそれとまったく異なっていることである。以下の(20)は、「第1幕第4場」における「下人」ケントのセリフである。

- (20) a. めっぽふ正直な野郎ですが、王様と同じに貧乏でございませ。  
b. いゝえ、存じぢやるません。が、あんたは、旦那と呼んで見たいお顔附の方でございます。

「下人」ケントは、「ございます」で終る文を多く用いている。このように、「下人」ケントのリヤ王に対することばづかいには、聞き手としてのリア王に対する丁寧さは表されているものの、リヤ王への敬意は表されていない。このことは、以下の(21)のような、「第1幕第1場」における「忠臣」ケントのリヤ王に対するセリフと比較してみると明らかである。

- (21) a. 何をなさる?  
b. 忠臣も能う口を開かんと思し召すか?  
c. そして御再慮あつて、決してかやうなおそろしい軽忽な振舞ひをなされませな。

(21)には、「なさる」「思し召す」「御再慮」といった尊敬語を用いることで、リア王への敬意が表されている。すなわち、坪内は、「忠臣」ケントと「下人」ケントを、ことばづかいにおいて区別して訳出したのである。「忠臣」ケントが「ござる」を用いて話しているのに対し、「下人」ケントは「ござる」を一度用いていない。それは、坪内が、「下人」というキャラクターのイメージが「ござる」の使用にむすびつかないと考えたからだろう。逆に言えば、「忠臣」というキャラクターは「ござる」の使用にふさわしいとみなしたからこそ、「第1幕第1場」に登場する「忠臣」ケントには「ござる」を使わせたのだと考えられる。

### 3.2 グロースター伯爵の「ござる」

次にグロースター伯爵（以下、グロースター）について見てみよう。グロースターには「ござる」の使用例が7つある。以下の(22)にそのすべてを示す。

- (22) a. 双方の御配當が如何にも精細に平等で、擇ぶことの出来ませんほどでござりから。  
b. 養育致したは手前に相違ござらんが、あれは自分のぢやと申すたびに、毎々

赧い顔をいたし、今ではもう慣れて鐵面皮になりました。

- c. なれども手前には、正腹の、さればとて一段かはゆいと申す譯でもない倅がござる、
- d. 此奴は出て来いとも言はんうちに、不作法にも飛び出した奴ではござるが、
- e. お袋は標致よしで、生ませるまでには大分面白いこともござったことゆゑ、子でないとは申されませんわい。
- f. どうかしてお仲の和ぐやういたしたいものでござる。
- g. ても、もぎだうな奥方！謀叛した覺えなぞはござらん。

グロースターの「ござる」の使用も「第 1 幕第 1 場」に集中している。(22a) から (22e) までの 5 例は、冒頭におけるケントとの対話の中でのセリフである。つまり、ケントとグロースターはおたがいに「ござる」を用いて話していることになる。グロースターは、リヤ王の家臣の一人であり、ケントより高齢の男性と思われる。しかし、この場面で、グロースターは、息子のエドマンドに、ケントを「尊敬するお方」として紹介しており、年下のケントに対して尊敬の念を抱いていることがうかがえる。つまり、グロースターは、たとえ年下でもすぐれた人物には敬意を払う、人格者の老臣というキャラクターとして造形されているのである。坪内は、そのようなキャラクターに「ござる」を用いて話させたのである。

### 3.3 リヤ王の「ござる」

最後にリヤ王について見てみよう。リヤ王には「ござる」の使用例が 8 つある。以下の (23) にそのすべてを示す。

- (23) a. 貴下が、若しそれだけを得る能はざれば此縁邊は止めるとある最低額の化粧料は幾何でござるの？
- b. バーガンディーどの、彼れめをかはゆう存じてをった時分にはさうもござったのぢやが、今は値が下りました。
- c. 神かけて、只今申したのが彼れが財産の全部でござる。
- d. 何も遣はしません。誓ふた上は、決定してござる。
- e. 予は誰れでござるの？
- f. おゝ、こなた御座ったか？これはこなたの意志でござるか？
- g. さやうでもござろう。
- h. お早うござるの。

リヤ王が「ござる」を用いるのは、「第 1 幕第 1 場・第 4 場」に集中している。つまり、これらの発話はすべて、リヤ王が引退して放浪する以前のものである。実は、リヤ王は「ござる」の使い手であると同時に、<老人語>の話し手でもある。以下のリヤ王のセリフを見られたい。

- (24) a. さう急に邸を出た上に、使ひの者を返してよこさぬといふは不思議ぢや。
- b. 汝はそんな辱めを受けてゐながら、娛樂とでも思ふてをるか？
- c. 彼等はそんなことは決して能うせん。

(24) には、終助詞「ちゃ」、補助動詞「をる」、否定の助動詞「ん」が用いられている。これらはすべて、現代のフィクション作品に登場する「老人」キャラクターによって用いられる語彙である（金水 2011、秋月 2014b）。これらの語彙が、近代においてすでに、＜老人語＞と呼ばれる役割語として使用されていたことがわかる。リヤ王が引退を目前にした高齢の王様というキャラクターであることと、彼が＜老人語＞を用いることは矛盾しない。しかし、現代の日本語母語話者には、「王様」キャラクターが、(23) のように「ござる」を用いて話すことには違和感を感じるのではないだろうか<sup>10)</sup>。

ここで、(23) に示したリヤ王のセリフの相手を確認してみよう。(23 a～d) はバーガンディ公爵、(23 e) は長女ゴリネルの執事オズワルド、(23 f, g) はゴリネルの夫オルバニー公爵、(23 h) は次女リーガンの娘コーンウォール公爵に対するセリフである。つまり、リヤ王が「ござる」を用いているセリフの相手はすべて、自分の身内や家臣といった「ウチ」の人物ではない。「ウチ」以外の「ソト」の高貴な人物に対して、リヤ王は丁寧なことばづかいをしているのである。以下の例を見られたい。

(25) バーガンディどの、先づ貴下に尋ねます、貴下はそれなる王と末女を争ひめされたが、

(25) は「第1幕第1場」における、リヤ王のバーガンディ公爵に対するセリフの一部である。ここでは、バーガンディ公爵を「バーガンディどの」「貴下（こなた）」と呼び、「争ひめされる」という尊敬語を用い、文末は「ます」という丁寧体のスタイルである。坪内は、リヤ王の身内以外の高貴な人物に対するセリフを、敬語を用いた丁寧体スタイルで訳しているのである。

一方、以下の(26) に示したように、家臣であるケントに対するリヤ王のセリフには、敬語が用いられていない。

(26) 黙れ、ケント！……龍と怒りととの間に立つな。……最ち彼女をかはゆう思ふて、彼女が深切な介抱をば末の頼みともしてをったに。

以上の観察から次のようなことが言える。少なくとも「第1場」におけるリヤ王は、老齢でありながらも、王としての高貴さをまだ失っていない人物として登場する。坪内は、そのような人物が、身内以外の高貴な人物に対することばづかいとして、丁寧体というスタイルを選択した<sup>11)</sup>。「ござる」は、そのようなスタイルの話し方に含まれる語彙の1つとして選択されているのだと考えられる。

#### 4. おわりに

『浮世風呂』と坪内譯『リヤ王』では、どのようなキャラクターによって「ござる」という語彙が用いられているのかを見た。表3は、この二作品で「ござる」を用いる主なキャラクターの属性をまとめたものである。

キャラクター	キャラクター属性
いしゃ	男性・高齢・専門職
ばゞ	女性・高齢・常識人
鬼角	男性・高齢・知識人
ケント伯爵	男性・貴族・忠臣・理性的
グロースター伯爵	男性・高齢・貴族・家臣
リヤ王	男性・高齢・王様

表3 『浮世風呂』と『リヤ王』の「ござる」使用キャラクターの属性

『浮世風呂』の3人のキャラクターに共通するのは「高齢」で「知識人」または「常識人」という属性である。近世において「ござる」は「高齢の人物」という属性と結びついており、そこには「知識をひけらかす高慢な人物」というイメージが伴っていた可能性がある。おそらく、近世においては、「ござる」はまだリアルなことばであったと考えられる。しかし、その使い手は、高齢の人物に限られていたのではないだろうか。当時は、実在する気難しい年寄り（男性に限らない）と「ござる」の使用がむすびついていた可能性がある。

一方、『リヤ王』の3人のキャラクターに共通するのは「男性」「高貴な人物」という属性である。『リヤ王』を見る限りでは、近代の「ござる」には、もはや「高齢で高慢な人物」のイメージはなく、むしろ「誠実さや礼儀正しさを備えた人物」のイメージになっている。これには、近代においては、「ござる」がすでにリアルなことばでなくなっていたことが関係していると考えられる。すなわち、「ござる」は「過去の人物」によって用いられていた語彙とみなされることによって、実在しない人物へとむすびつけられた。それが、外国の貴族である「公爵」や、日本の中世以前に存在した「武士」であったのではないだろうか。そこに、「誠実さ」や「礼儀正しさ」を備えた理想のキャラクター像が投影された可能性がある。この推測が正しければ、役割語としての「ござる」は近代において成立したとすることができる。このような人物像は、「忠臣」キャラクターと呼ぶことができよう。この「忠臣」キャラクターの人物像が、戦後のマンガ等のフィクション作品に登場する「忍者」キャラクターや「武士」キャラクターへと引き継がれていったのだと考えられる。

## 注)

- 1) 菊地 (1996) は、「ございます」を使用するには、「①「ございます」を（不自然なく）使える箇所では一貫して「ございます」を使い、②また他の箇所でも「ございます」に見合った敬度の高い表現を使わなければなりません」という使用上の難しさがあるとし、「「ございます」を使いこなすには、実は敬語の総合力が必要なのです」と述べている。リアルな場においても「ございます」の使用が限定されるのは、このような理由によると考えられる。
- 2) 現実の会話においても、話し手が「忍者」キャラクターや「武士」キャラクターの発話キャラクタを繰り返そうとする場合には「ござる」が用いられることがあるだろう。発話キャラクタとは、定延 (2011) が言う「スタイル以上、人格未満」のレベルを示す人物像のことである。田中 (2011) は、発話キャラクタを繰り返すふるまいを「ことばのコスプレ」と呼んでいる。
- 3) 現代の役割語としての「ござる」は、猿のキャラクターに用いられることもある。1990年代初頭、日本電気 (NEC) のキャンペーンCMに登場した「バザール・デ・ゴザール」という猿のキャラクターは、語尾に「ござーる」を用いていた。この場合の「ござる」は、「動物キャラ語尾」とみなすことができる (秋月 2012b)。

- 4) 近世および近代における、リアルな場での「ござる」の用法については不明な点が多い。田中（2013）は、明治後期から大正期にかけて出版された雑誌『太陽』には「ござる」はほとんど使われておらず、「でござる」体は、この時期にはすでに廃れていた」と述べている。
- 5) 「白濁」の使用は、「前編巻之上」に登場するキャラクター「田舎出の三助」の発話や、「前編巻之下」に登場する仙台浄瑠璃に見られる。
- 6) 『浮世風呂』に登場するキャラクターの発話には、「ごっす」もしばしば用いられている。以下は「いしゃ」のセリフである。
  - (i) a. 御隠居どうでごっすナ。
  - b. エ、何アノ何でごっすて。「ごっす」は、「ございます」が「ござります」「ござんす」を経て生じた形式と考えられている。本稿ではこの考えにしたがい、「ごっす」は「ございます」のバリエーションの1つとみなし、「ござる」のバリエーションとはみなさない。
- 7) 本稿では、中村通夫の校注による『浮世風呂』（岩波書店）の表記を用いるが、一部、漢字の字体を旧字体から新字体に改めた。また、表記の都合上、「繰り返し記号」を「√」で表記する。
- 8) この点は、現代の「忍者」や「武士」キャラクターが用いる「ござる」と異なっている。（3）にあげたような、『新忍者ハットリくん』に登場する「忍者」キャラクターのハットリくん、和月伸宏の『るろうに剣心』に登場する「武士」キャラクターの緋村剣心らは、その発話文の多くを「ござる」で終えており、彼らの人物像は「ござる」を繰り返し使用することによって強く印象づけられていると言える。
- 9) 「山出し下女」にも「ござる」の使用例が3例ある。しかし、これらの「ござる」は「山出し下女」が歌う歌詞の中に登場するものであり、「山出し下女」自身による発話ではない。そのため本稿では考察の対象としない。
- 10) 現代のキャラクターで「老人語」と「ござる」を併用するキャラクターとしては、「殿様」のキャラクターに仕える「老臣」や「老忍」のキャラクターを思い浮かべることができよう。
- 11) 戦後の翻訳を見ると、リヤ王のセリフは丁寧体のスタイルで訳されていない。以下は、福田恆存訳（1967）『リア王』の（25）のセリフに対応する部分である。
  - (i) バーガンディ公、まず公にお尋ねしよう、このフランス王と娘を争う御身から先に。福田は、「ソト」の貴族に対する王のセリフを、尊敬語を用いつつも、文体は普通体のスタイルで訳している。現代の日本語母語話者の多くは、福田訳の方が「王様」キャラクターという人物像と一致すると感じることだろう。これは、「王様」キャラクターの人物像が、近代から戦後にかけて変化した可能性を示唆する。

## 資料

藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>『新 忍者ハットリくん』第1巻 復刊ドットコム  
和月伸宏『るろうに剣心』第1巻 集英社 ジャンプコミックス  
中村通夫（校注）『日本古典文学大系 63 浮世風呂』岩波書店  
シェイクスピア 坪内逍遙（譯）『新修シェイクスピア全集第三十巻リヤ王』中央公論社  
シェイクスピア 福田恆存（訳）『リア王』新潮社  
シェイクスピア バラエティ・アートワークス（企画・漫画）『まんがで読破 リア王』イースト・プレス

## 参考文献

秋月高太郎（2012a）「ウルトラマンの言語学」『尚綱学院大学紀要』第63号 p.17-30  
秋月高太郎（2012b）「動物キャラクターの言語学」『尚綱学院大学紀要』第64号 p.43-57  
秋月高太郎（2013a）「続・ウルトラマンの言語学」『尚綱学院大学紀要』第65号 p.29-42  
秋月高太郎（2013b）「「ぜ」の言語学」『尚綱学院大学紀要』第66号 p.11-24  
秋月高太郎（2014a）「脇役男子の言語学—スネ夫やジャイアンはどのように話すのか」『尚綱学院大学紀要』第67号 p.41-54  
秋月高太郎（2014b）「忍者の言語学」『尚綱学院大学紀要』第68号 p.27-40  
菊地康人（1996）『敬語再入門』丸善

- 菊地康人 (1997) 『敬語』 講談社
- 金水敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』 岩波書店
- 金水敏 (編) (2003) 『役割語研究の地平』 くろしお出版
- 金水敏 (2008) 『役割語と日本語史』 金水敏・乾喜彦・渋谷勝己 『日本語史のインターフェイス』 岩波書店
- 金水敏 (編) (2011) 『役割語研究の展開』 くろしお出版
- 金水敏 (2014) 『コレモ日本語アルカ？ - 異人のことばが生まれるとき』 岩波書店
- 金水敏 (編) (2014) 『<役割語>小辞典』 岩波書店
- 定延利之 (2006) 「ことばと発話キャラクタ」 『文学』 7-6, p.126-133
- 定延利之 (2011) 『日本語社会 のぞきキャラくり - 顔つき・カラダつき・ことばつき』 三省堂
- 田中牧郎 (2013) 『近代書き言葉はこうしてできた』 岩波書店
- 田中ゆかり (2011) 『「方言コスプレ」の時代 - ニセ関西弁から龍馬語まで』 岩波書店
- 福島直恭 (2002) 『<あぶない ai>が<あぶねえ e:>にかわる時 - 日本語の変化の過程と定着』 笠間書院